第三類（応用化学・生物工学・化学工学系）

１．主専攻プログラム及び配属

　　第三類（応用化学・生物工学・化学工学系）では，以下の3つの主専攻プログラムを設けています。

(1)　応用化学プログラム

(2)　生物工学プログラム

(3)　化学工学プログラム

各主専攻プログラムへは，2年次後期のはじめに，本人の希望，成績を考慮して配属されます。主専攻プログラムに配属されるためには，専門基礎科目の中の必修科目(基礎化学実験及び技術英語演習を除く。)合計18単位のうち16単位以上を修得し，かつ，教養教育科目を含めて合計60単位以上を修得しなければなりません。

２．履修基準表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| プログラム名 | 応用化学プログラム | 生物工学プログラム | 化学工学プログラム |
| 専門基礎科目 | 31単位以上(必修23単位を含む。) |
| 専門科目 | 必修科目(卒業論文5単位を含む。)33単位，選択必修科目8単位以上，自由選択科目10単位以上 | 必修科目(卒業論文5単位を含む。)31単位，選択必修科目8単位以上，自由選択科目12単位以上 | 必修科目(卒業論文5単位を含む。)33単位，選択必修科目8単位以上，自由選択科目10単位以上 |
| 計 | 82単位以上 |

専門科目の単位について；選択必修科目のうち，所要単位数を超えた分は自由選択単位数に算入できます。また，自由選択科目として次の科目を履修することができ，これらの修得単位は，卒業要件単位に含めることができます。

・所属プログラム以外の第三類専門科目

・他類の専門基礎科目と専門科目

・工学部共通科目

３．卒業論文着手要件

　卒業予定年度のはじめに，次の条件を満たしていること。

(1)　外国語8単位及び履修すべき実験科目と実習科目(基盤科目の実験と実習も含む。)をすべて修得していること。

(2)　修得総単位数(教養教育科目を含む。)が115単位(ただし，化学工学プログラムは，化学工程設計を除き112単位)以上であり，そのうち専門基礎科目と専門科目を合計した修得単位数が69単位(ただし，化学工学プログラムは，化学工程設計を除き66単位)以上であること。

４．卒業要件

(1)　専門教育科目の卒業要件単位数82単位(卒業論文5単位を含む。)を修得していること。

(2)　卒業要件単位数126単位(教養教育科目44単位を含む。)を修得していること。

　注：卒業論文の論文試験に合格するためには，3年次以降に受験した英語能力に関する検定試験において，下記のいずれかを満たしている必要がある。

TOEIC®Listening & Reading テスト（TOEIC®Listening & Reading-IP テストを含む。）450 点以上, TOEFL-iBT® 46 点以上, 広島大学が実施するTOEFL-ITP® テスト453点以上のいずれかを達成, 又は技術英検 2 級（CBTを含む）に合格。